

## 次代を見据えた研究科の開設

2016年4月、高度な専門的職業人を養成するため、新しい大学院研究科を開設します。1つは総合情報学の分野を切り開いていく能力と、国際的に通用する高度な情報処理能

力・行動力を育む「総合情報学研究科」。もう1つは食を取り巻く諸問題をグローバルな視点で解決する“実務のスペシャリスト”を育成する「食環境科学研究科」です。

### 総合情報学研究科

Graduate School of Information Sciences and Arts

総合情報学の分野を切り開いていく能力と  
国際的に通用する高度な情報処理能力や行動力を養う



文系と理系、それぞれの学生がともに学び、「第一級の情報の創り手、使い手」の育成を図る総合情報学部を発展させる形で、「総合情報学研究科 総合情報学専攻修士課程」を設置します。本研究科では、3つの分野「システム情報分野」「メディア情報分野」「心理生体情報分野」を設け、各分野に特化した専門科目を配置するとともに、英語による発表能力を育成します。指導教員による研究指導において、国際的に通用する研究および論文執筆を指導するほか、組織的に「英文基礎力養成講座」、「英語論文作成講座」を開講し、英語論文作成を支援します。実践的な英語力を高めた学生は、学術的価値を広く一般に認知された場で英語による論文発表ないし口頭発表を行います。

### 食環境科学研究科

Graduate School of Food and Nutritional Sciences

食を取り巻く諸問題をグローバルな視点で解決する  
実務のスペシャリストを育成



食糧自給率の低下や食の安全など、現代社会の食を取り巻くさまざまな課題に対応できる人材を育成するため、食環境科学部を基礎として「食環境科学研究科 食環境科学専攻修士課程」を設置します。カリキュラムとしては就職に強い大学院を目指し、企業人講師による高度な社会人基礎教育科目を配置することで、企業が求める高度専門家を育成。さらに、PBL（課題解決型学習）などの教育方法により、課題解決能力やプレゼンテーションスキルなど高度専門職業人としての実践的能力を養います。また、1年次には海外の食品関係企業等での海外研修を必須化し、食の分野でグローバルに活躍できる人材を育成します。